

# 令和7年度「事業評価・改善会議」開催報告

令和8年3月26日（木）、当所4階401会議室において、経営発達支援計画の令和7年度「事業評価・改善会議」を開催しました。

## 1. 経営発達支援計画とは

- ・商工会議所が小規模事業者に対して行う、伴走型の事業計画策定・実施支援（経営分析・市場調査・事業計画策定・販路開拓等）を行うための事業計画を「経営発達支援計画」といい、経済産業大臣が認定・公表・支援する制度です。
- ・当所は、小規模事業者の「経営力の向上と販売促進への支援」を強力に推進し、地域経済の競争力強化と活性化を図るため、「経営発達支援計画」を策定。平成27年7月15日付で認定を受け、平成27年度～平成31年度の5年間にわたり、長岡地域の発展に向け取り組みました。
- ・その後、令和元年7月16日、「改正小規模事業者支援法」が施行され、経営発達支援計画は、これまでの商工会議所・商工会の単独申請から、関係市町村と共同で作成し申請することとされたことから、長岡市と共同で計画を策定し、令和元年11月7日付で認定申請を行い、令和2年3月16日付で認定を受け、令和2年度から令和6年度の5年間にわたり、取り組みました。
- ・令和7年3月21日付で新たな計画の認定を受け、令和7年度から令和11年度の5年間にわたり、取り組んでいます。

## 2. 事業評価・改善会議とは

- ・この会議は、中小企業診断士や行政機関、金融機関等の有識者で構成する委員に対して、経営発達支援計画に記載した事業の実施状況や成果を報告し、成果の評価・見直し案の提示をいただくため、毎年度、開催するものです。
- ・評価結果は正副会頭会議に報告するとともに、当所ホームページと会報で公表することとしています。



## 3. 会議構成メンバー

（順不同・敬称略）

役職	氏名	所属・役職
委員長	今井進太郎	中小企業診断士
委員	相田 収平	(公財)にいがた産業創造機構 テクノプラザ長
委員	早川 裕之	長岡市商工部産業支援課 課長
委員	安部 健司	日本政策金融公庫長岡支店 支店長
委員	村山 光博	長岡大学 学長

#### 4. 令和7年度「経営発達支援計画」事業の実施状況について

- ・経営発達支援計画では、事業評価は事業の効果を判断するため、数値目標に照らした評価を行うこととしています。

No.	事業項目	事業数／目標達成数	達成率	評価
1	地域の経済動向調査に関すること	2事業／2事業	100%	A
2	需要動向調査に関すること	2事業／2事業	100%	A
3	経営状況の分析に関すること	1事業／1事業	100%	A
4	事業計画策定支援に関すること	5事業／2事業	40%	C
5	事業計画策定後の実施支援に関すること	2事業／1事業	50%	C
6	新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	3事業／3事業	100%	A
7	事業の評価及び見直しに関すること	1事業／1事業	100%	A
8	他の支援機関との情報交換に関すること	4事業／2事業	50%	C
	合計	20事業／14事業	70%	B

#### 5. 委員長・委員のコメント(総括)

##### 【総括コメント】

- 前年度より目標達成率がアップしていること、しっかり着実に事業を実施し、PDCAを回していることは評価したい。
- 目的を明確にして、柔軟に事業に取り組んでほしい。
- 各支援機関とも連携がとれているようだが、より連携を進めてほしい。
- DXやAI活用など、商工会議所はデジタル化推進の担い手になっている。引き続き、支援に取り組んでほしい。

以上